

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2017年1月

高知県感染症情報センター  
 高知県衛生研究所  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第1週(1月2日～)から第4週(～1月29日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における1月の上位6疾患の合計は133.31で12月の4週間換算110.01に比べて増加した。増加の主因は12月に流行が始まり、本格的な流行期に入ったインフルエンザの増加である。1位はインフルエンザで93.90と12月2位4週間換算値22.19に比べて約4.2倍に増加した。2位が感染性胃腸炎で25.15（同1位67.70）と減少した。3位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.67（同3位9.27）と減少した。4位が流行性耳下腺炎で2.86（同5位3.69）、5位がマイコプラズマ肺炎で2.52（同4位3.96）と減少した。6位は流行性角結膜炎で2.21（同7位2.66）と横ばいだった。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	1週	2週	3週	4週	計
1	インフルエンザ		10.58	15.25	28.66	39.41	93.90
2	感染性胃腸炎		5.31	6.48	7.00	6.36	25.15
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.06	1.45	1.99	2.17	6.67
4	流行性耳下腺炎		0.83	0.85	0.59	0.59	2.86
5	マイコプラズマ肺炎		0.67	0.72	0.62	0.51	2.52
6	流行性角結膜炎		0.58	0.59	0.55	0.49	2.21

## 県内情報

### 1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の12月の上位6疾患の合計は133.98と12月の4週間換算59.85に比べ約2.2倍に増加し、全国と同水準となった（表2）。増加の主たる原因はインフルエンザの増加である。今季は本県でA香港H3が26件、AH1pdm09が3件検出されており、全国の流行株の比率と同様である。

1位はインフルエンザで93.15と12月の2位4週間換算12.12と比べて7.7倍に増加し、本県は全国よりも始まりが遅かったが全国と同等となり、本格的な流行になった。2位は感染性胃腸炎で27.83（同1位28.78）と横ばいであり、全国と同等であった。3位がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.36（同3位7.42）と減少し、全国よりも少なかった。4位はRSウイルス感染症で2.73（同4位4.58）と減少したが、全国よりも多かった。5位はマイコプラズマ肺炎で2.51（同6位2.82）とわずかに減少し、全国と同様であった。6位は水痘で2.40（同5位4.14）と減少し全国よりも多かった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	1週	2週	3週	4週	計
1	インフルエンザ		10.21	14.25	28.75	39.94	93.15
2	感染性胃腸炎		4.47	7.23	8.70	7.43	27.83
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.83	1.50	1.60	1.43	5.36
4	RSウイルス感染症		0.80	0.77	0.83	0.33	2.73
5	マイコプラズマ肺炎		0.63	0.75	0.63	0.50	2.51
6	水痘		0.97	0.67	0.33	0.43	2.40

## 2. 全体の傾向

麻疹、風疹の報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 4,471名 (12月 727名)。全国では前年第34週以降に報告が増加し、本県での流行開始は遅れたものの11月になってまとまった報告があり、12月には著しく増加し流行期に入った。12月としては、過去10年間のうちで、パンデミック(新型インフルエンザ)として記憶に新しい2009年に次ぐ多い報告数であった。1月は、過去10年間では同時期として5番目の報告数であり、きわだって多い数とは言えない。広い年齢層で報告され、20歳未満が63.1%であった。県下全域で警報基準(定点当たり30以上)を超え、特に、高知市、幡多で多く定点当たり100を超えていた。ウイルスはA香港H3が18件、AH1pdm09が2件検出された。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 14名 (12月 58名)。幡多、中央東、高知市、須崎から、表記の順に多く報告された。同時期は過去10年で50までの報告数で推移しており例年とおりの報告数である。咽頭結膜熱の患者からAdenovirus 1が1件検出された。その他の患者検体からAdenovirus 1と3が各1件検出された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 161名 (12月 278名)。  
2014年10月以降多い報告数が続き、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月はほぼ平年並み、6月は再び増加した。7月以降減少に転じたものの9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月-1月は平年並みの数となった。県下全域から報告があり、特に須崎、高知市、中央西からの報告が多い。細菌は検出されていない。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 835名 (12月 1,079名)。  
県下全域で警報基準値20を超えた報告があり、安芸、中央西、高知市、中央東、幡多、須崎の順に多く報告された。病原体としてはNorovirus GⅡが5件、Rotavirus AG9が2件、Sapovirusが1件検出された。特に強い感染力をもつNorovirusの流行が11月から続いており注意が必要である。  
ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数(101名)が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月以降は1~3名と減少している。本県でのワクチン接種率は乳児の4割程度で、全国よりも低いと推測されている。

### 5) 水痘

報告数 72名 (12月 155名)。県下全域から報告があり、中央西、中央東、高知市、幡多からの報告が多い。2015年からの水痘ワクチン定期化の効果で、少ない数字で推移していたが、12月は大幅に増加した。2014年10月から始まったワクチン定期化の恩恵を受けていない5歳以上が34名(47%)を占めていた。ワクチンの効果が期待される過去2年間では前月に次いで多い報告数だった。

### 6) 手足口病

報告数 10名 (12月 16名)。初夏に流行が始まる感染症で、例年通りの立ち上がりで、7月以降減少していたが、10月に再び増加に転じたが11月減少し終息に向かっている。高知市と中央西から報告された。ウイルスは検出されていない。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 21名 (12月 36名)。2015年以降、全国的に例年に比べて多い傾向で推移している。幡多、中央東、高知市、中央西から報告があり、表記の順に多かった。Parvovirus B19は検出されていない。軽症のことが多く、医療機関を訪れる機会も少なく流行状況の正確な把握が難しい側面がある。流行が続けば、成人の関節炎、貧血発作(Aplastic crisis)、流産、胎児水腫といった合併症が増加する可能性があり、注意を要する。

- 8) 突発性発疹  
報告数 29名(12月 42名)。想定内の変動で推移している。
- 9) 百日咳  
報告数 4名(12月 7名)。中央西、須崎、高知市から報告があった。細菌は*Bordetella pertussis*のゲノムが2件検出された。高知県では百日咳の入院例に限定した全数調査が2016年から開始されている(厚生労働省班会議研究の拠点調査)。
- 10) ヘルパンギーナ  
報告数 0名(12月 10名)。例年6-7月から流行がみられるが、今季は、通常の流行の立ち上がり、規模ともに小さかったが、だらだらと報告が続いたが、ようやく終息した。
- 11) 流行性耳下腺炎  
報告数 33名(12月 80名)。全国的にも増加が報告され注目されている。高知県でも6月に倍増し、流行が危惧されたが、7月は半減し、以後は例年の流行レベルとなった。安芸以外から報告があり、中央東、須崎、高知市、幡多、中央西で多い。ウイルスは検出されていない。
- 12) RSウイルス感染症  
報告数 82名(12月 172名)。中央西以外から報告があり、幡多、高知市、中央東、安芸、須崎の順に多かった。病原体としてはRS virus Bが1件検出された。
- 13) 流行性角結膜炎  
報告数 4名(12月 2名)。ここ3年間は一桁で推移している。
- 14) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)  
報告数 1名(12月 0名)。30歳代の1例が高知市から報告された。
- 15) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)  
報告数 0名(12月 0名)。昨年はEchovirus 6が6例検出されており、今年の動向に注意を要する。
- 16) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)  
報告数 20名(12月 28名)。高知市、中央東から表記の順に多く報告された。

#### 基幹定点の月報疾患

- 17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
報告数 13名(12月 20名)。例年並みの数で推移している。
- 18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
報告数 0名(12月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

## 高知県における月別全数報告疾患（平成29年1月）

類型	病名	報告 月	総計
		1月	
2	結核	5	5
4	つつが虫病	1	1
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2
	梅毒	2	2
総計		12	12

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

1月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	275	867	1,812	483	222	812	4,471	727	405
小児科	咽頭結膜熱		4	6		1	3	14	58	10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	22	76	18	31	13	161	278	263
	感染性胃腸炎	65	186	316	91	45	132	835	1,079	1,079
	水痘	1	24	25	12	1	9	72	155	42
	手足口病			9	1			10	16	2
	伝染性紅斑		6	8	2		5	21	36	27
	突発性発疹	1	8	12	3	2	3	29	42	36
	百日咳			1	2	1		4	7	9
	ヘルパンギーナ								10	
	流行性耳下腺炎		11	13	1	3	5	33	80	82
	RSウイルス感染症	4	14	38		1	25	82	172	150
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			4				4	2	1
STD	性器クラミジア感染症			2				2		1
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ		1					1		
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎			1				1		
	無菌性髄膜炎									2
	マイコプラズマ肺炎		3	17				20	28	25
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			2				2	4	9
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)		1	1			1	3	3	30
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4	3	3			3	13	20	23
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		351	1,150	2,346	613	307	1,011	5,778	2,717	2,196
前月		77	457	1,193	264	231	495			
前年同月		88	402	1,025	157	149	375			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

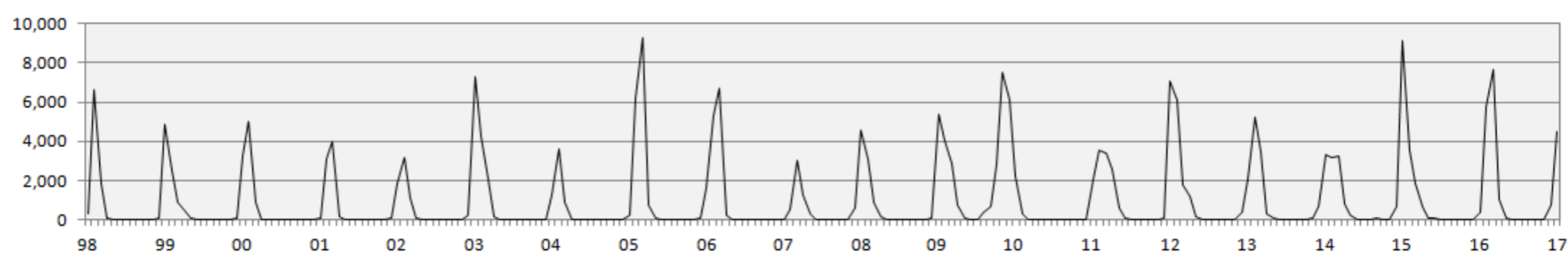
1月

定点当たり的人数

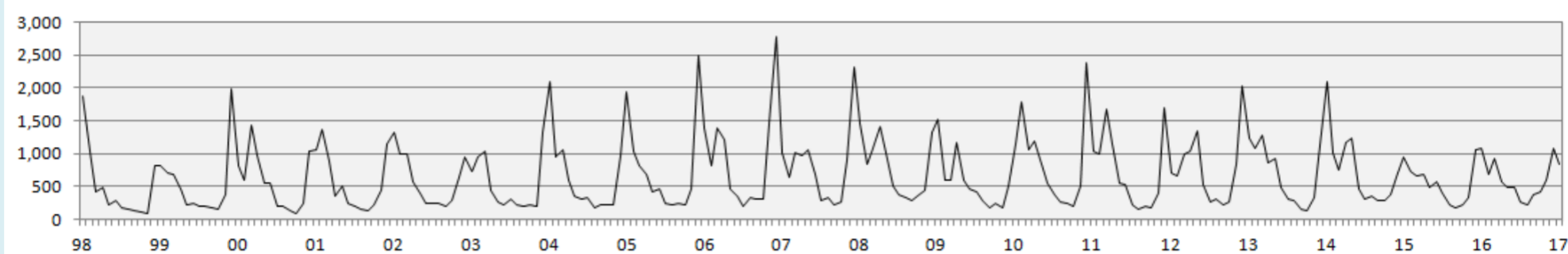
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	68.75	78.82	113.25	96.60	55.50	101.51	93.15	15.15	8.44
小児科	咽頭結膜熱		0.56	0.54		0.50	0.60	0.48	1.93	0.34
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	3.14	6.91	6.00	15.50	2.60	5.36	9.27	8.77
	感染性胃腸炎	32.50	26.58	28.72	30.33	22.50	26.40	27.83	35.97	35.97
	水痘	0.50	3.43	2.27	4.01	0.50	1.80	2.40	5.17	1.41
	手足口病			0.81	0.33			0.33	0.54	0.06
	伝染性紅斑		0.86	0.72	0.67		1.00	0.70	1.20	0.91
	突発性発疹	0.50	1.15	1.08	0.99	1.00	0.60	0.96	1.39	1.19
	百日咳			0.09	0.66	0.50		0.13	0.23	0.30
	ヘルパンギーナ								0.33	
	流行性耳下腺炎		1.57	1.17	0.33	1.50	1.00	1.10	2.66	2.73
	RSウイルス感染症	2.00	2.00	3.45		0.50	5.00	2.73	5.73	5.00
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			4.00				1.33	0.66	0.33
STD	性器クラミジア感染症			1.00				0.33		0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ		0.50					0.17		
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		
	無菌性髄膜炎									0.26
	マイコプラズマ肺炎		3.00	3.40				2.51	3.52	3.14
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.40				0.26	0.51	1.13
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)		1.00	0.20			1.00	0.38	0.38	3.76
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4.00	3.00	0.60			3.00	1.63	2.50	2.88
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		104.75	118.11	159.01	139.92	98.00	140.51	135.17	79.57	65.12
前月		31.25	60.73	94.45	75.70	101.50	88.44			
前年同月		38.75	51.44	79.88	49.80	71.00	71.61			

### 注目される疾患別月別推移

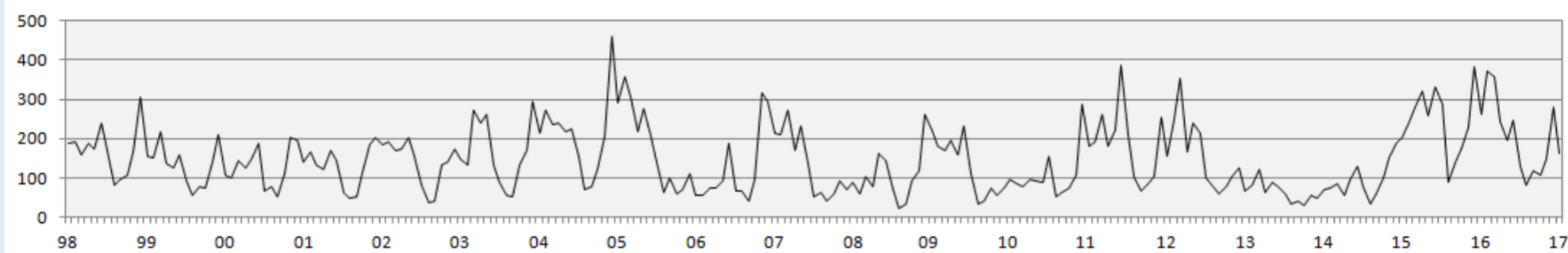
インフルエンザ



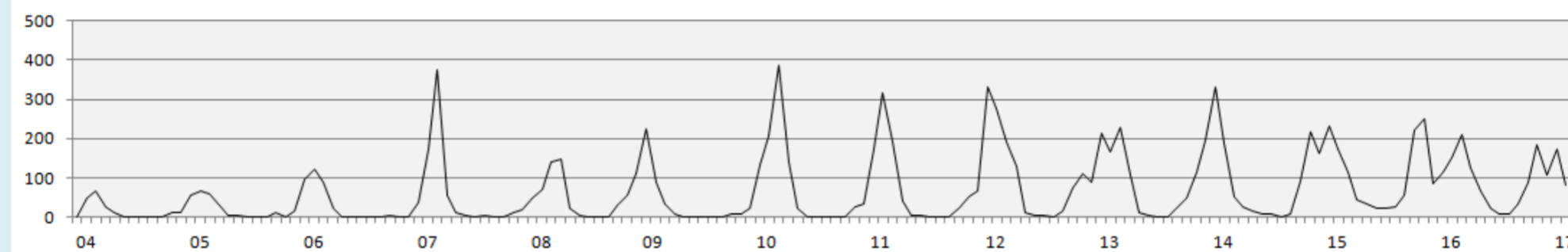
感染性胃腸炎



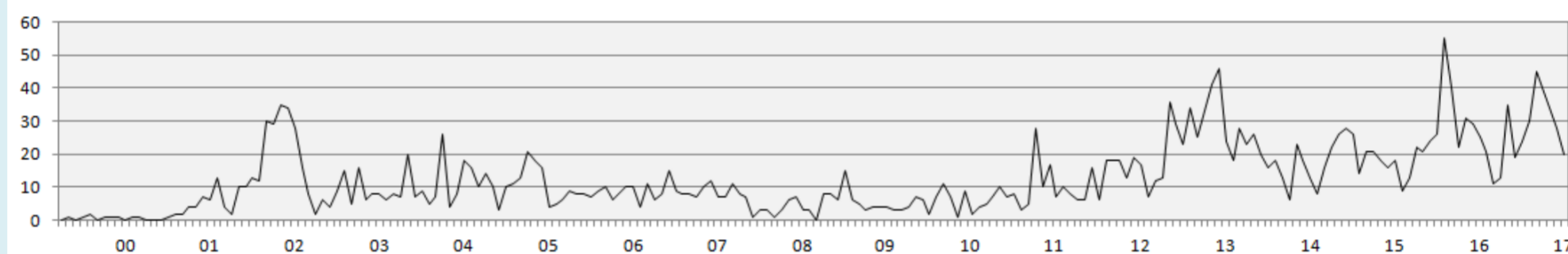
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



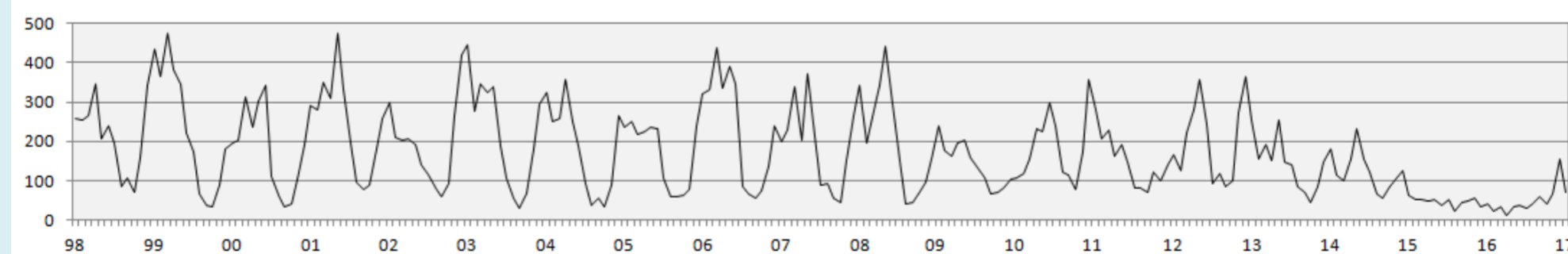
RSウイルス感染症



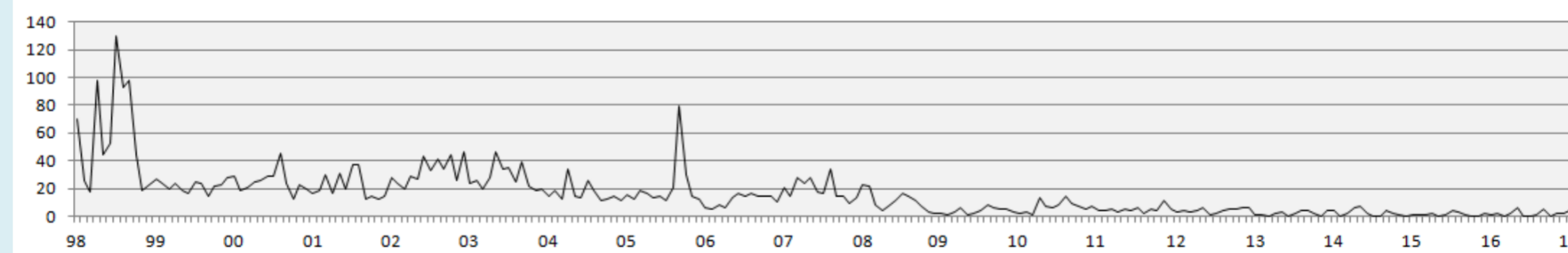
マイコプラズマ肺炎



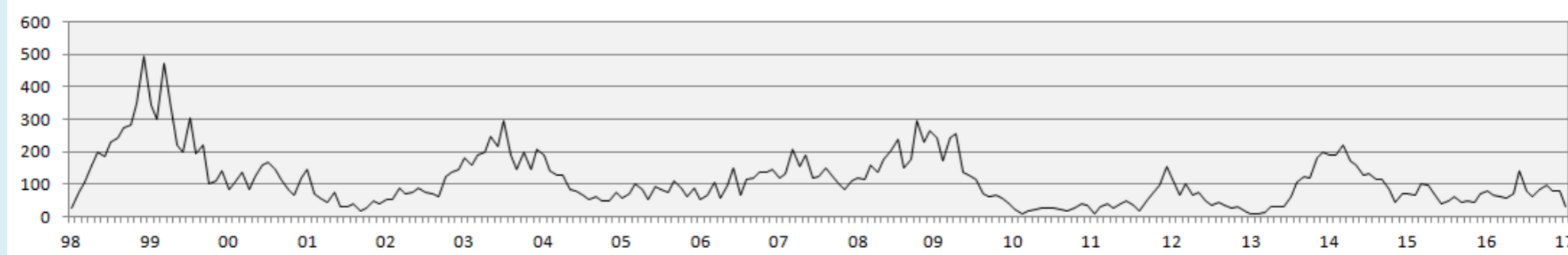
水痘



流行性角結膜炎



流行性耳下腺炎



高知県感染症情報(月報)  
平成29年1月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

平成29年1月はウイルス91件、細菌14件の搬入があり、そのうちウイルス41件、細菌2件の病原体を検出し、また、平成28年12月に搬入された検体でウイルス4件、11月に搬入された検体でウイルス1件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 2件、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 3 1件、Coxsackievirus A2 1件、Coxsackievirus B1 1件、Cytomegalovirus 2件、Enterovirus NT 1件、Epstein-Barr virus 1件、Human herpes virus 6 1件、Human herpes virus 7 3件、Influenza virus A H1pdm09 2件、Influenza virus A H3 NT 18件、Norovirus GII NT 5件、Respiratory syncytial virus B 1件、Rhinovirus 3件、Rotavirus group A G9 2件、Sapovirus genogroup unknown 1件であった。また、細菌の内訳は、*Bordetella pertussis* 2件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス, 細菌の検出
1	1	男	手足口病	39°C, 発疹,	ふん便	11/18	Enterovirus NT
2	11ヶ月	男	ヘルパンギーナ	40°C, 上気道炎,	ぬぐい液	12/12	Human herpes virus 6
3	9ヶ月	男	腸重積症	嘔吐, 嘔気, 腹痛, 咳漱,	ふん便	12/14	Adenovirus 3
4	0ヶ月	女	急性咽頭炎	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	12/14	Coxsackievirus B1
5	5ヶ月	女	口内炎, 発疹(水泡)	38°C, 水疱, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	12/19	Cytomegalovirus
6	1	男	-	39°C, 咳漱, 上気道炎, 気管支炎, 肝機能,	ふん便	12/19	Adenovirus 2
7	1	女	-	40°C, 下気道炎,	鼻汁吸引	12/20	Rhinovirus
8	3	女	呼吸器疾患	咳漱, 上気道炎,	鼻咽腔ぬぐい液	12/21	Rhinovirus
9	3ヶ月	女	百日咳		ぬぐい液	12/21	<i>Bordetella pertussis</i>
10	14	女	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 関節痛,	ぬぐい液	12/24	Influenza virus A H3 NT
11	7	男	インフルエンザ	38°C, 咳漱,	ぬぐい液	12/24	Influenza virus A H1pdm09
12	1	男	不明発疹症	37°C, 嘔吐, 発疹,	ぬぐい液	12/24	Coxsackievirus A2
13	1	男	インフルエンザ	38°C,	ぬぐい液	12/24	Influenza virus A H3 NT
14	1	男	感染性胃腸炎	39°C, 下痢, 嘔吐, 嘔気,	ふん便	12/24	Norovirus GII NT
15	4	女	インフルエンザ	38°C,	ぬぐい液	12/26	Influenza virus A H3 NT
16	66	女	インフルエンザ		ぬぐい液	12/26	Influenza virus A H3 NT
17	9	女	インフルエンザ	38°C, 咳漱,	ぬぐい液	12/27	Influenza virus A H3 NT
18	9	男	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	12/27	Influenza virus A H3 NT
19	8ヶ月	女	感染性胃腸炎	38°C, 嘔吐, 嘔気,	ふん便	12/27	Norovirus GII NT
20	4	女	-	咳漱,	鼻腔	12/27	Respiratory syncytial virus B
21	29	女	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	1/2	Influenza virus A H3 NT
22	5	男	感染性胃腸炎	嘔吐, 嘔気, 腹痛, 咳漱, 上気道炎,	ふん便	1/2	Rhinovirus
23	1	男	咽頭結膜熱	41°C,	ぬぐい液	1/3	Adenovirus 1
24	1	男	-	咳漱,	ぬぐい液	1/4	Adenovirus 1
25	1	女	-	40°C, 発疹,	鼻咽腔ぬぐい液	1/5	Cytomegalovirus
26	1	女	-	発疹,	ぬぐい液	1/5	Epstein-Barr virus
27	2	女	インフルエンザ	39°C, 下痢,	ぬぐい液	1/6	Influenza virus A H3 NT
28	26	女	インフルエンザ		ぬぐい液	1/7	Influenza virus A H3 NT
29	3	男	インフルエンザ	40°C, 咳漱,	ぬぐい液	1/10	Influenza virus A H3 NT
30	14	女	インフルエンザ	39°C, 咳漱,	ぬぐい液	1/10	Influenza virus A H3 NT
31	6	男	百日咳	咳漱,	ぬぐい液	1/11	<i>Bordetella pertussis</i>
32	5	男	口内炎(ウイルス性?)	37°C, 口内炎,	ぬぐい液	1/11	Human herpes virus 7
33	50	女	インフルエンザ	39°C, 関節痛,	ぬぐい液	1/12	Influenza virus A H1pdm09
34	4	男	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	1/12	Influenza virus A H3 NT



No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
35	9	男	インフルエンザ	39°C,上気道炎,	ぬぐい液	1/14	Influenza virus A H3 NT
36	9	男	感染性胃腸炎	39°C,下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,肝機能,	ふん便	1/15	Rotavirus group A G9
37	12	女	インフルエンザ	40°C,関節痛,	ぬぐい液	1/16	Influenza virus A H3 NT
38	6	女	感染性胃腸炎	37°C,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/17	Norovirus GII NT
39	52	男	インフルエンザ	37°C,咳漱,	ぬぐい液	1/17	Influenza virus A H3 NT
40	1	男	感染性胃腸炎	39°C,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/17	Norovirus GII NT
41	13	女	インフルエンザ	40°C,腹痛,関節痛,	ぬぐい液	1/18	Influenza virus A H3 NT
42	1	男	感染性胃腸炎	38°C,下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/18	Sapovirus genogroup unknown
43	13	女	伝染性紅斑の疑い	39°C,発疹,	ぬぐい液	1/19	Human herpes virus 7
44	2	男	感染性胃腸炎	37°C,嘔吐,嘔気,腹痛,咳漱,	ふん便	1/20	Norovirus GII NT
45	8	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	1/23	Human herpes virus 7
46	10	男	インフルエンザ	38°C,咳漱,	ぬぐい液	1/23	Influenza virus A H3 NT
47	2	男	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	1/23	Rotavirus group A G9
48	13	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	1/24	Influenza virus A H3 NT



臨床診断名	病原微生物	2016年												2016年 総計	2017年 1	2017年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
百日咳	<i>Bordetella parapertussis</i>		1												1		
	<i>Bordetella pertussis</i>	2	5	4	4	5	8	3	4	10	6	3	1	55	2	2	
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1				1	1	1	1		3	1	9			
	計	2	7	4	4	5	9	4	5	11	6	6	2	65	2	2	
流行性耳下腺炎	Mumps virus					1					1			2			
	計					1					1			2			
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B3										1			1			
	Cytomegalovirus									1				1			
	Echovirus 6						2	3	1					6			
	Echovirus 30									1				1			
	Human herpes virus 7	1							1					2			
	Mumps virus								2					2			
	Parachovirus 3								1					1			
	Parainfluenza virus 3									1				1			
	Rhinovirus																
Respiratory syncytial virus A																	
計	1					2	6	3	2	1			15				
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1		1					1				3			
	計		1		1					1				3			
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A									1				1			
	Respiratory syncytial virus B											2		2			
	計									1		2		3			
水痘																	
	計																
突発性発疹	Coxsackievirus A4					1								1			
	Cytomegalovirus								1					1			
	Human herpes virus 6					2				1				3			
	計					3			1	1				5			
その他	Adenovirus 1														1	1	
	Adenovirus 2	1												2	3		
	Adenovirus 3										1			1	1	1	
	Adenovirus 41									1				1			
	<i>Bordetella pertussis</i>				1									1			
	Coxsackievirus A2														1	1	
	Coxsackievirus A4								2					2			
	Coxsackievirus A14	1												1			
	Coxsackievirus A16																
	Coxsackievirus B1													1	1		
	Cytomegalo virus	4		4	1			1	1		1			12	2	2	
	Echovirus 6						3	1	1					5			
	Echovirus 18				1									1			
	Enterovirus NT					1	2							3			
	Epstein-Barr virus	3					2						1	6	1	1	
	Herpes simplex virus 1	1												1			
	Human herpes virus 6	2	4		1		2			2	2	1		14			
	Human herpes virus 7	3	1	2	1	1		1		1		1		11	2	2	
	Human metapneumovirus					2	1		7		2			12			
	human parvovirus B19							1				1		2			
	Mumps virus										1			1			
	Norovirus GII NT											1		1			
	Parainfluenza virus 1						1							1			
Parainfluenza virus 3					1	2		2	1				6				
Respiratory syncytial virus A	2	4						1					7				
Respiratory syncytial virus B	1		2									2	1	6	1	1	
Rhinovirus	2	1	3	2	3	1	1					2	1	16	1	1	
Rotavirus group A G2			1											1			
Sapovirus genogroup unknown													1	1			
計	20	10	12	7	8	14	8	11	6	7	9	5	117	10	10		
総計	49	89	49	32	26	42	35	26	25	26	37	34	470	43	43		

類型	病名	報告年																				総計
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	131	122	5	1447	
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	131	122	5	1447	
3	コレラ	1					1						1								3	
	パラチフス	2																			2	
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2												25	
	腸チフス		1						1										1		3	
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34		191	
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34		224	
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3						3	1	32	
	Q熱	1	1	2					1												5	
	オウム病			1		1															2	
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3		4	1	75	
	マラリア													1							3	
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3		51	
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13		143	
	日本脳炎	1	1	1					1				1	1							6	
	レプトスピラ症											1		4	2	1					8	
	E型肝炎												1		1						2	
	デング熱												1				3	2	1		7	
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	24	
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	1	358	
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2		36	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1				54	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	1	48	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2				28	
	ジアルジア症		1	2	1							1		1	1						7	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1			3	
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1		17	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	1			1		1	1	1	3		1		3		13	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9		59	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	1	10	
	侵襲性肺炎球菌感染症															1	4	12	16	2	35	
	水痘(入院例に限る)																	2	1		3	
	播種性クリプトコックス症																		1		1	
	髄膜炎菌性髄膜炎										1										1	
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3		29	
梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	12	12	2	137		
麻しん										5										5		
風しん										1	1			4	9	1				16		
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	64	72	6	502	
新型	新型インフルエンザ																				34	
	計																				34	
動物	鳥インフルエンザ													1							1	
	計													1							1	
	総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	213	256	12	2566	

類型	病名	報告月	総計
		1月	
2	結核	5	5
4	つつが虫病	1	1
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2
	梅毒	2	2
	総計	12	12